



# 第2回 環境教育プログラムの評価入門

-自由に評価がおこなわれる社会を目指して-

9月20日(金) 13:30~15:30 オンライン

参加費:2000円 定員:50名 対象:ミュージアム職員・教育に関わる人



話題提供者  
**桜井 良**

立命館大学政策科学部准教授



動物園、水族館、博物館、学校など様々な機関や地域で日々行われている環境教育。環境教育を受けることで参加者には何らかの効果が表れているはずですが、ではその効果をどのように測ったらよいのでしょうか。

環境教育プログラムの評価手法について、アメリカのコネル大学で使われている理論や考え方を紹介しながら説明します。評価に関心がある全ての方の背中を押せるような、そんなお話ができればと思います。

モデレーター

松本朱実

林浩二

森沙耶



回	月日	テーマ	話題提供者
3	10/18	対話を通じたファシリテーション	松本 朱実
4	11/15	ミュージアムとESD	林 浩二
5	12/6	ふれあいプログラムにおける動物の福祉評価はなぜ必要か	並木 美砂子
6	1/24	ロジックモデルを使ってプログラムのロードマップを作ってみよう	桜井 良
7	2/14	ESDの学びの評価～ループリックを作ってみよう～	松本 朱実
8	3/14	ESD実践例の交換会	参加者

後援

公益社団法人 日本動物園水族館協会

特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク

協力 地方独立行政法人天王寺動物園

助成 特定非営利活動法人 西日本自然史系 博物館ネットワーク日比自然史基金

主催 一般社団法人ミュージアムESDコミュニティ

ミュージアムを学び合いのプラットフォームに  
<https://museec31.wixstudio.io/museec>

